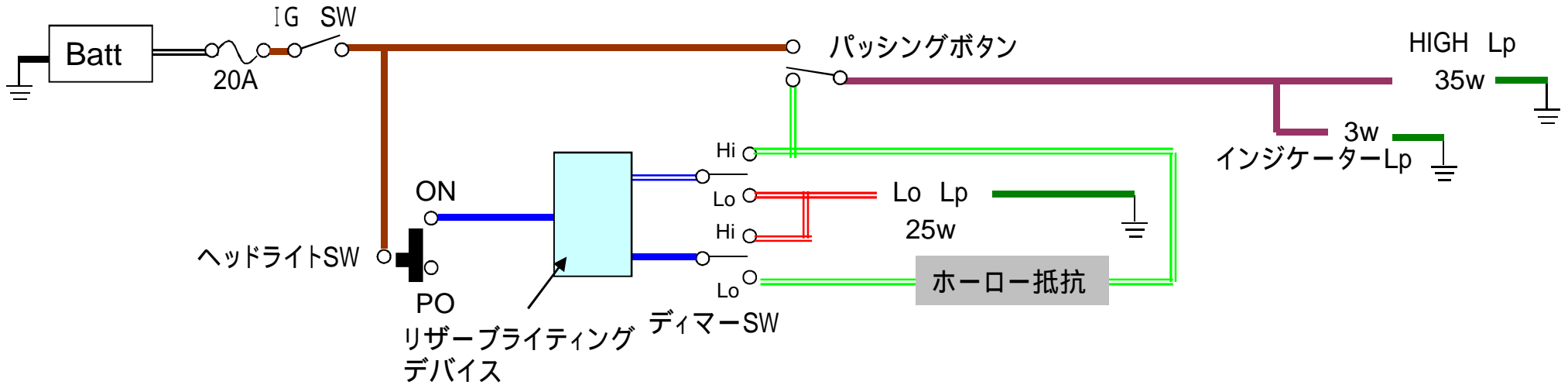


W3 ヘッドライト強化配線図

強化前



ランプ	状態	ディマーSW	線		線		ランプの状態	
			電流検知	加圧	電流検知	加圧	Lo Lp	Hi Lp
Lo	正常	Lo	ON		OFF		点灯	消灯
	断線		OFF	ON	ON		消灯	減光
Hi	正常	Hi		ON	OFF		消灯	点灯
	断線		OFF	ON	ON		点灯	消灯

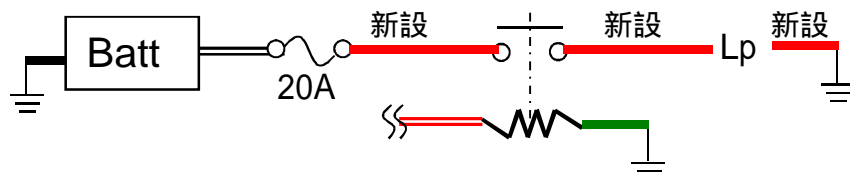
【解説】

Lo Lp断線の場合、 の電流が0になったことをリザーブライティングデバイスが検知して を加圧する。よってLO位置のままレジスタを経由してHi Lpを加圧する。レジスタ經由によって12V電源が分圧されるのでHi Lpは減光されるしくみである。

Hi Lp断線の場合、同様に が加圧され、Hi位置のままLo Lpが加圧される。この場合、レジスタは経由しないので減光されない。

【ヘッドライト強化策】

Hi Lo Lpの電源線である 線と 線にそれぞれ右図のようにリレーを介在させる。これにより、各Lpには電源電圧が直接加圧される。配線は新設し抵抗低減のためφ2mm以上の太線とする。接点抵抗値は0.1～0.3Ω程度なので、通常配線では各スイッチやギボシ端子で相当の電圧降下が発生する。これを限りなくゼロにすることによりLpの性能を100%発揮させる。もちろん、接地線も直接車体にアースングする。



【ヘッドライト強化策の落とし穴】

通常は上記の配線変更で完了するのだが、W3だけは事情が異なる。リレーのコイルはその性格上W数が小さい。ということは電流値が小さい。これが落とし穴だ。

Lo位置での現象:リレーonでLo Lp点灯するも の電流値が小さくなる

デバイスがLo Lp断線検知 ON で 線加圧Hi Lpが減光点灯

Hi位置での現象:リレーonでHi Lp点灯するも の電流値が小さくなる

デバイスがHi Lp断線検知 ON で 線加圧Lo Lpが通常点灯

【W3用対策】

Lo位置対策 : 線から 線へのON指令を断つ(下図の端末処理のみでOK)

Hi位置対策 : 線から 線へのON指令を断つ(線左スイッチ内部配線の端末処理が必要)

Hi位置ではLoもHiも点灯させれば非常に明るいので私はLo位置対策のみ実施

